

ホームページにアクセスしてください。
本学の情報をたくさん盛り込んでおります。
アクセスをお待ちしております。

<http://www.aitech.ac.jp/>

愛知工業大学同窓会 支部結成のために必要とされる手続き

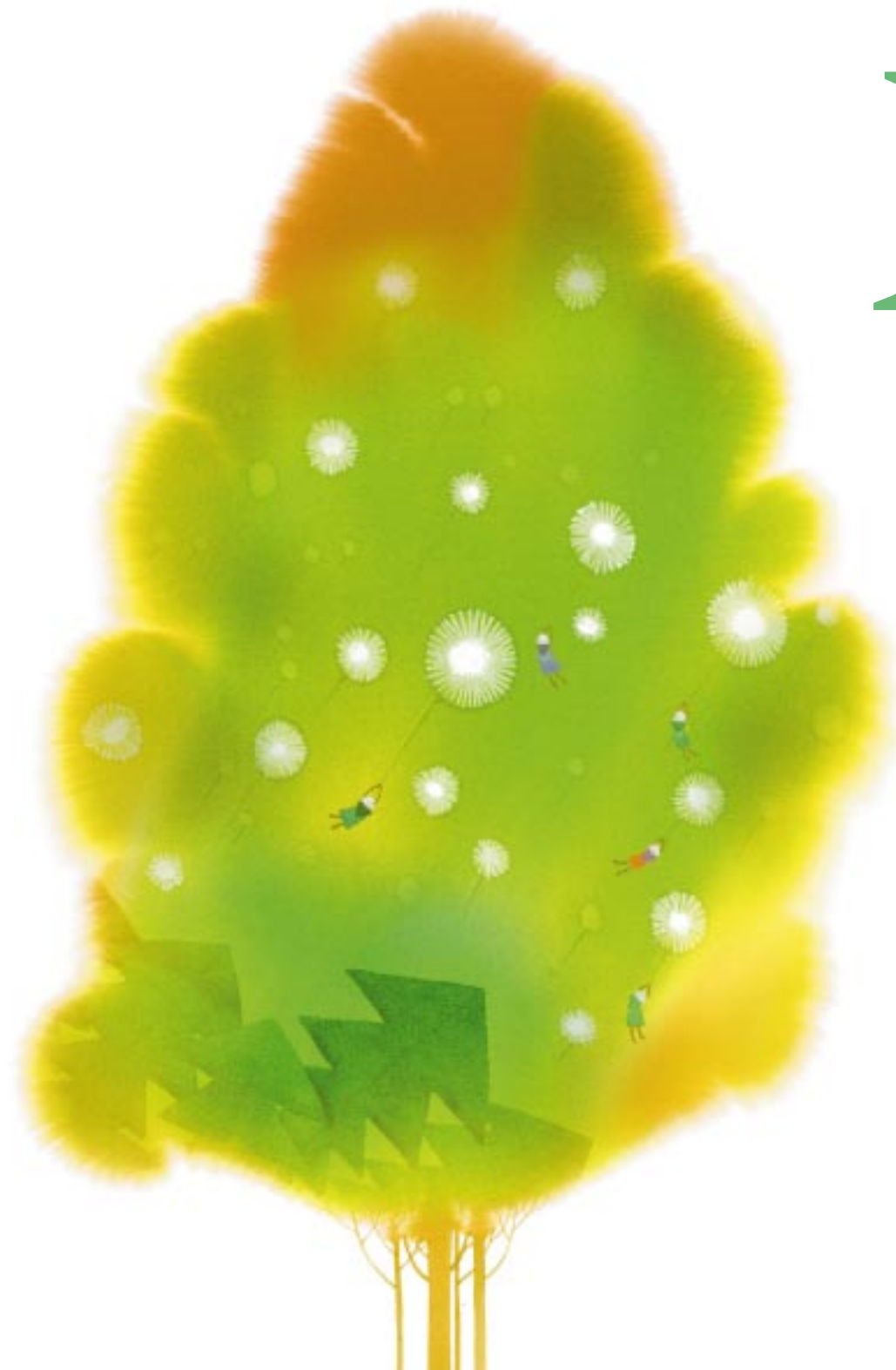
1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、連絡先等)
3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
4. 支部本部となる連絡場所...連絡先、住所、電話番号記入
5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける

職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること
申込先

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
愛知工業大学同窓会事務局
TEL.0565-43-1032 (FAX共通)

愛知工業大学 同窓会機関誌 **みずわか**

発行日 2002.12.16
編集 瑞若編集委員会
編集責任者 伊藤 雅
発行責任者 山田 英介
発行所 愛知工業大学同窓会
〒470 0392 豊田市八草町八千草1247
Tel・Fax 0565 43 1032
印刷 株式会社 大東社
〒494-0008 尾西市東五城字備前25
Tel 0586 62 1168 Fax 0586 62 1751



MIZU WAKA

Vol.35
瑞若会会報

Campus News

経営工学科 の歩み——①

~常に時代を先取った
経営工学科の足跡をたどる

- CONTENTS
- 5 ロボカップジュニア
 - 7 クローズアッププロフェッサー
 - 9 まるごと体験ワールド
 - 11 入試インフォメーション
 - 13 就職インフォメーション
 - 15 AIT Seminar
 - 17 がんばるOB
 - 20 学園創立90周年
 - 21 ホットボイス
 - 23 クラブニュース
 - 25 同窓会News
 - 28 退職・新任教員紹介
 - 29 事務局便り

平成12年、新学部・経営情報科学部の誕生にともな
って経営工学科が改組されました。昭和37年に開設以来、
平成14年度末までの卒業生数は7412人(予定者含む)。
歴史に彩られた経営工学科の歩みを振り返ります。

平成15年3月、最後の卒業生を送り出す経営工学科

常に時代を先取った経営工学科の足跡をたどる

創設期について

1950～60年代、「高度成長化」という時代の要請から、経営管理を科学的、合理的に遂行するための人材が強く望まれていました。1959年に国公立大学と一部の私立大学への設置に続き、愛工大でも1962年に経営工学科が誕生。「企業経営・管理に従事しうる情報、IE技術者の養成に努める」ことを目的とし、情報工学系、生産工学系を柱に数学をはじめ機械、電気、経営、人間に関する基礎教育を重視するカリキュラムが中心でした。同時に情報化時代の到来を予見し、コンピュータ処理に役立つ数理統計の諸科目が置かれたことにも特徴があります。

1970年以降には企業を研究対象とする学問としての姿勢が定まり、経営管理技術、技法の体系化、総合化が進み、経営工学科としての履修内容が確立しました。高度成長の末期には企業の管理技術者が社会的地位を認められるようになった時代です。

また、科としては工業的立場から、企業経営の課題へクリエティブな接近をはかり、実習、演習実験を重視し、管理技術研究者として役立つ卒業生の養成にも努めました。さらに総合的、全体的に経営を考える上で、法学、環境工学、公害論、経済性工学の諸科目といった法律と工学の関連性と重要性が認識され、工学系基礎科目との関連を考察しつつ経営工学の履修内容は変化していきました。



経営工学実験棟跡地に建設された11号館

経営工学実験棟について

経営工学実験棟の完成年は昭和63年(1988年)。既設の経営工学科実習棟機械実習室に隣接して建設されました。実験棟の中には通常の実習用の部屋と温度(5度から40度)と湿度(10%から90%)の環境を制御する環境室の2部屋を整備していました。主として実験教育に使用され、人間工学実験や人間工学実習では被験者への環境からの影響を制御して実験を行う必要がありました。

人事について

昭和37年に学科が発足して以来、この40年間で初代主任教授の増田米二先生や開設二十年記念誌編集委員長の工藤市兵衛主任教授をはじめ総勢142名(非常勤講師を含む)の諸先生方が経営工学科の発展と運営に携わってきました。

TOPICS

経営工学科のトピックス

経営工学科計算機室(K108室)の 拡充と変遷について

- 1962 昭和37年 旧若水校舎に経営工学科を設置
- 1963 昭和38年 NEAC(NECの旧ブランド名)2203を全国で初めて導入
- 1967 昭和42年 NEAC 1240導入(全IC化超小型コンピュータ)視聴覚機器、基礎的な作業測定機器を整備
- 1979 昭和54年 NEC(日本電気)がPC-8001を発表経営工学科で20台程を導入BASIC教育がスタートする
- 1981 昭和56年 NEC PC-8801を発表計算機室に約50台を設置
- 1982 昭和57年 NEC 初代PC-9801発売実習用に10台導入
- 1985 昭和60年 1985年 PC-9801VM(98シリーズのベストセラー)を実習用に30台導入
- 1992 平成4年 Macintosh LC2を33台導入

経営工学科UNIXサーバとLANの 拡充と変遷について

- 1967 昭和62年 第5世代コンピュータであるPSIによるTCP/IP通信の実験を開始計算センター経由で経営工学科と学外を初めてネットワーク接続
- 1993 平成5年 学科UNIXサーバ Sun S-4/1000を新規導入イーエローケーブルと10Base-5による学科内LAN稼働
- 1995 平成7年 K404教室をLAN対応教室に改修
- 1996 平成8年 ノートブック回転販売とノートブックによる講義実習がスタート
- 1999 平成11年 UNIXサーバをFujitsu GRANPOWER 7000S Model350に更新
- 2000 平成12年 基幹を光ケーブルと1000Base-SXに拡張経営工学科すべての教室のLAN環境を10Base-T/100Base-TXに移行

経営工学科 卒業生からのコメント..... 1

学科第1回生として 試行錯誤しながら

昭和41年卒業
野寄 克己さん



経営工学科が開設された昭和37年、学科第1回生として若水校舎の門をくぐりました。コンピュータはまだ一般的ではなく、手回し計算機が使われていた時代です。「これからの分野」といふ期待を胸に「経営管理」を選択。増田教授による指導のもと、「会社におけるゼネラルスタッフ環境と役割」を卒論のテーマとして、数十社を実際に取材しながら経営企画のあり方を研究しました。研究を通して「会社全体を見ながら進むべき方向を定めることがいかに重要であるか」を学びました。

また、クラブ活動はワンダーフォーゲル部に所属。全日本学生ワンゲル連盟の東海支部設立を実現させるなどの活躍をしました。

株式会社三五に入社後も「全体を広く見通す姿勢」を業務に取り入れて、現在は経営企画・海外企画担当の常務取締役という立場で国際的な視野を持って会社の発展に力を注いでいます。

経営工学科 卒業生からのコメント..... 2

学生時代の経験が 社会に出て役立つ

昭和51年卒業
鈴木 基之さん



資格取得のため、卒業証明書をもらいに25年ぶりに愛工大の校内へ足を踏み入れました。途中で学生に道を尋ねると親切に案内をして教えてくれました。なかなかしっかりした後輩たちが育ってくれていてほっとした気分になります。

私の大学時代はアルバイトで明け暮れ、ありとあらゆる業種にチャレンジしました。もらったバイト料で仲間と北海道一周旅行、今ではあまり聞かない期間周遊券でのコースホステルの安い長い旅行が目的でした。そのアルバイトの経験が卒業してから直後の数年間は大変役に立ちました。会社の組織で汗水たらして働く喜び、工事完成時の達成感などの気持ちにつながりました。今の学生には「今しかできない経験を真剣に取り組んでほしい!」と伝えたいです。就職、結婚、子育て、遊びなど様々なときに思い出し、役立つときが来るはずですよ。

経営工学科カリキュラムの変遷

昭和37年 1962年度・経営工学科
開設期の課程

必修科目

数学、物理学、工業力学、機械要素、機械工学概論、電気工学概論、工業化学概論、設計製図、オペレーションズリサーチ、自動制御理論、生産工学、生産工学実験、生産管理、生産管理実験、科学的管理法、工業経営概論、経営工学演習、経営学、財務管理、原価管理、労務管理、産業心理学、工場立地、工場政策、外国文献講読、英語会話、卒業特別研究

選択科目

数学、物理実験、力学、化学、化学実験、工業材料、工業計測法、情報理論、生産工学、生産管理、品質管理、経済学、工業会計、金融論、販売管理、購売管理、市場調査、経営統計、推計学大意、労働法、労働科学、工場衛生および安全、工場計画、インダストリアルデザイン、木材加工および金属加工、職業指導、産業概説、農業学

平成11年 1999年度・経営工学科
最後の専門教育科目

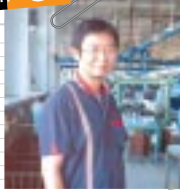
必修科目

線形代数、微分積分、および演習、統計学、物理学、物理実験、経営工学総論、原価管理、マーケティング、インダストリアルエンジニアリング、生産管理、品質管理、人間工学、ファクトリーオートメーション実習、確率モデル、オペレーションズ・リサーチ、コンピュータ概論、ソフトウェア、情報基礎実習、プログラミング実習、経営工学英語、製図、経営工学基礎セミナー、経営工学セミナー、卒業研究

選択科目

物理学、経営工学総論、マーケティング、生産管理、品質管理、オペレーションズ・リサーチ、ソフトウェア、化学、経営学、経営情報システム、会計学、財務管理、経済性工学、行動科学、労働工学、労務管理、資材購買管理、設備管理、CAD/CAM概論、多変量解析、プログラミング実習、機械工学、電気工学、事例研究、特別講義、職業指導

経営工学科 卒業生からのコメント..... 3

学んだことを活かして
国内外で多忙な毎日昭和62年卒業
緞 洋康さん

現在、私は(株)アルペンに勤務しています。仕事内容は、スノーボードブーツやシューズの企画・開発から生産、そして販売まで。大なり小なりすべてに携わっています。学生時代は勉学に勤しむタイプではなかったのですが、経営工学科で学んだことは現在の仕事の基礎としてとても役立っています。仕事で年の1/3は中国に行っていますが、ここ10年の中国沿岸部の発展には驚かされます。今、日本は元気がないように感じられますが、自分としては中国の活気を取り入れ今後もがんばっていきたくと思っています。

来春、経営工学科が最後の卒業生を迎えるというニュースを聞いて寂しさを感じました。しかし、それは愛工大の新たな発展につながることを信じています。また、関係者、同窓会の皆様の活躍を期待しています。

経営工学科 卒業生からのコメント..... 4

プログラミングが
やりたくて選びました平成10年卒業
石井 理絵さん

「コンピュータに興味があり、自分でソフトを作りたい」と経営工学科を選択。平成6年に入学し、講義を履修するにつれて経営工学のフォロワー分野がとて広いことを実感しました。

3年生からは鬼頭教授のゼミに参加。当初からの希望でプログラミングを専門に研究を進めました。伝統的アルゴリズムに関する卒業論文をまとめるため、ほとんど毎日を研究室で過ごす日々が続きました。

現在はSEとしてNECソフトウェア中部に勤務しています。新たな事柄に取り組み、着実にステップアップしていった学生時代の経験は、知識や技術が次々と入れ代わるコンピュータ業界において十分に活かされています。また、SEの業務を行う上で「誰かの役に立ちたい」という気持ちを大切に仕事をしています。お客様が何を欲しているのか理解し、より便利な環境の提案を行うことはとても重要で、そこにやりがいを感じる仕事です。

共同研究プロジェクトが始動

プロジェクトの中心になっている
稲垣道夫教授

平成14年度から5年間行われる共同研究プロジェクトとして「21世紀を支えるための材料の開発～環境、エネルギー、情報に資する材料開発のための基礎研究～」が採択されました。環境、エネルギー、情報の各分野におけるさらなる技術革新を支え、推進する材料開発を目的とし、本学15名・学外共同研究者27名で進められます。プロジェクトの指揮を執るのは工学部応用化学科の稲垣道夫教授です。

本学ではこれまでに振動実験台の設置(昭和48年)、先駆的な電子計算機の導入(昭和38年～)、総合技術研究所の開設(平成4年)などの研究教育施設・設備を拡充してきました。今回のプロジェクトは文部科学省の「私立大学学術研究高度化推進事業」の一つである「学術フロンティア推進事業」の一環。内外の研究機関との共同研究を推進することで私立大学における研究基盤を強化し、我が国の学術研究の充実に貢献します。

研究の特徴と目的

環境・材料グループ(本学4名・学外共同研究者8名)

環境水、環境大気中の有害物質の工業的規模における分解・除去。

本学研究者 工学部応用化学科・酒井忠雄教授(グループリーダー) / 工学部応用化学科・立木次郎教授 / 総合技術研究所・吉川俊夫教授 / 工学部応用化学科・手島紀雄助教授

学外研究者(国内):大学、高専、自治体、企業5名 海外研究者:大学3名(チェコ、タイ、ポーランド)

エネルギー・材料グループ(本学4名・学外共同研究者9名)

エネルギー貯蔵の効率化を研究対象として、二次電池の高性能化のための新規材料やエネルギー源としてのガス貯蔵のための高性能吸着材の開発。

本学研究者 工学部応用化学科・中島剛教授(グループリーダー)

工学部応用化学科・稲垣道夫教授
工学部応用化学科・平野正典助教授
工学部応用化学科・大澤善美助教授

学外研究者(国内):大学、企業5名 海外研究者:大学4名(フランス、スロベニア、中国)

情報・材料グループ(本学7名・学外共同研究者10名)

高度情報化社会において緊急に必要とされる、大容量光導波路、光情報処理デバイスの作成のための材料の基礎研究。

本学研究者 工学部電気工学科・落合鎮康教授(グループリーダー) / 工学部電気工学科・小嶋憲三教授 / 工学部電子工学科・高橋弘欣教授 / 工学部情報通信工学科・内田悦行教授 / 工学部電気工学科・大橋朝夫教授 / 工学部情報通信工学科・古橋秀夫助教授 / 工学部電気工学科・前田昭徳助教授

学外研究者(国内):大学、企業5名 海外研究者:大学、研究所5名(カナダ、インド、中国、韓国)

ROBOCUP
**ロボカップ
ジュニア**
愛工大大会
JUNIOR

**50人の小・中学生が
自作ロボットで対戦**

平成14年8月9日から11日まで、AITプラザ3階で「ロボカップジュニア・愛工大大会」が開かれました。これは名古屋市科学館が開催している小学校5年生から中学生を対象としたロボット競技の地区大会です。前半2日でロボットの組み立て、プログラミングを行い、最終日に試合を行いました。ルールはタイヤの付いたロボットが2台1チームとなり、サッカーのようにボールをゴールへと導

きます。ハード面は雪田講師、ソフト面では水野助教授の指導のもと、あらかじめ想定される場面に応じて、パソコンで細かな動作を設定し、より戦略的な試合が展開されました。

理系ばなれ、科学ばなれと言われる時代に、ものづくりの楽しさを体験させ、子供たちの好奇心や創造力を養う催しとして注目を浴びました。



前半5分・後半5分の試合に熱中する子供たち

「また大会に参加したい!!」と話す高津拓也君と泉山統悟君

愛工大生らスタッフの手を借りてロボットを調整



学内の企画・運営を担当したエクスナレーションセンター宇都宮課長



優勝チームの高庄勇気君と服部大樹君

パソコンが使いやすくなりました!

無線LANのサービス開始

平成14年4月からAITプラザ1階、情報教育センター1階、計算センター3階に無線LANのアクセスポイントを設置しました。LANケーブル無しでパソコンをインターネットに接続できるので、電波の届く範囲なら好きな場所でネットワークを利用できます。規格は最新の801.11a(54Mbps)と従来の801.11b(11Mbps)に対応しています。今後、利用状況を見ながらアクセスポイントを増やしていく予定です。



学生寮に情報コンセント

学生寮の各部屋に情報コンセントを整備。パソコンを使った予習・復習が自室でできるようになりました。



図書館がリニューアル!

図書館書庫スペースおよび閲覧スペースが手狭になりましたので、図書館の1階を北側に140平方メートル、南側に112平方メートル拡張しました。そして北側には6万冊収容可能な手動式集密書庫を設置し、これまで総合技術研究所の1階の保存書庫に収蔵していた資料を図書館に収容して、さらに館内全体の資料配置について再検討し、集中的・系統的に資料を配架しました。また南側に36席のテラス風の閲覧机を配置して、今まで図書館に無かった開放的な閲覧スペースとしました。



6万冊収容できる手動式集密書庫



南側の閲覧机は明るい雰囲気

第42回・愛工大祭開催!

2002年10月16日から20日までの5日間、大学祭実行委員会の主催で第42回愛工大祭が行われました。今年のテーマは「ジグソーパズル」。最初はバラバラな気持ちも最後には一つになりたい、という願いを込めて決められました。土日はあいにくの空模様ながらも、学内セントラルパークの模擬店やステージイベント、愛和会館での工科展、メインストリートのフリーマーケット、AITプラザでの催しなどに大勢の学生や家族連れなどがつめかけ、学内はお祭り気分一色に染まりました。



古着や雑貨が並ぶフリーマーケット



建築物の構造やCGプログラムが展示された工科展



ジグソーパズルのモチーフをあしらった階段

様々な分野で活躍する愛知工業大学の先生方。今回は、その分野での権威であり、テレビ等、マスコミにも知られている先生の中からお二人をご紹介します。

PROFESSOR



メキシコにあるロックフィルダム
「Luis L. Leon」

Yoshio
Ohne工学部
土木工学科

大根 義男教授

「プロジェクトX」で放映された、ダムと公共事業に寄せる熱意

長年にわたり国内外で活躍

ダム全般、特に土や岩を使ったフィルダム研究の第一人者である大根教授。牧尾ダムをはじめとして、戦後の日本で造られたダムのほとんどを設計しました。また、国連の地域開発担当官として韓国や中東、東南アジア、メキシコなどのダム建設に携わるなど、活躍の場は世界に広がっています。2000年には日本ダム工学会の会長も務めました。

エンジニアとして国の将来を考える

現在へ至る活動の原点となったのは、20代で土木技術者として愛知用水を手がけたこと。この経緯はNHK「プロジェクトX」で紹介されました。「完成後、用水に沿って歩くと、知多半島の皆さんに抱きつかれて喜ばれました。この経験が後々の私の人生に大きな影響を与えたと思います。一つ一つ国民のためにできることをやらなければ、特定の誰かの利益ではなく不特定多数のためです。偉そうだなって言われますが、これまでに実際に立証してきたことです」と徹底した経験主義を貫きます。自分で経験したことや疑問に思った点を研究室に持ち帰り、納得のいくまで理論的に検証を重ねるという姿勢で取り組んできました。この経験を学生教育に役立てています。

また、地球環境をテーマに数々の講演を行っています。「世界的な人口増加や温暖化によって、将来、深刻な食料と水資源の枯渇が予測され、日本では洪水などの災害が懸念されています。その解決・予防策として今、開発を行うことは非常に重要です」と土木技術者の立場から公共事業の必要性を訴えています。

蓄積された知識と技術を後輩へ

今後は、JICA(国際協力事業団)と連携してベトナムに技術者のトレーニングセンターを設立するなど、後輩の育成に力を入れていこうです。「若い人たちには自分のことだけを考えるのではなく、自分のエネルギーのたとえ1%でも、人のためになれるようなことを学んでいただきたい。エンジニアリングとは本来そういうものだと思います。」「技術とは何のためにあるのか?」という問いに向き合ってきた大根教授。グローバルかつ真摯な技術者が育ってほしいと願っています。

クロースアップ

プロフェッサー

PROFESSOR

Hisao
Ishigaki経営情報科学部
マーケティング情報学科

石垣 尚男教授



PROFESSOR



石垣教授が開発に参加した
ソフト「SPEESION」

「動体視力」で日本一進んだ研究室

国内のスポーツビジョン研究をリード

「スポーツビジョン」。あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、これは主にスポーツと眼・視点との関連を研究する分野です。石垣教授はこの分野について全国でも先進的な研究を進め、多数の著作を持つほか、科学番組にも出演しています。

医学、心理学、人間工学など多角的にアプローチ

一般に眼の動きという視力の良し悪しを想像しますが、人間の情報収集はもっと高次の認知、とりわけスポーツにおいては単なるフォーカスを超えた動きが重要となっています。「眼で見えるもの、つまり“出力”については研究がしやすいのですが、眼への“入力”については比較できる方法が少ないのです。能力の違いもありますし、発育や老化など、様々な要素が複雑に絡み合っています」。そこで教授が中心となって視覚機能を客観的に計測できるソフト「SPEESION」を開発しました。計測方法は極めてシンプル。マス目の中に次々と表示される記号を瞬時に記憶して答えるというもので、いつでもどこでも誰でも計測できる画期的な方法として注目を浴びています。

最近のスポーツ界では、「成績アップは試合展開の先を読む状況判断能力にかかっている」と言われていますが、これも「スポーツビジョン」の研究による功績です。石垣教授はプロ野球球団のトレーニングに参加し、「SPEESION」を使って個々の選手の成績と眼の能力の追跡調査を行いました。すると眼の能力が選手の成績に大きく関わっていることがわかったそうです。「スポーツと認知に関する疑問は限りなくあります。ですから研究も好奇心いっぱい進めています」と語ります。

学内外で精力的に活躍

今後は「眼の能力」のこれまでにない認識のもとに、新たなトレーニングの普及に努めていこうです。最近ではプロサッカーチームの主催するイベントに参加し、具体的なビジュアルトレーニング方法を提示しています。愛工大で行われた「まるごと体験ワールド」では「君もイチローになろう」のテーマで小・中・高校生向けの講義も開講しました。また、趣味の分野では、テニスカラ釣り30年のキャリアの持ち主。中日新聞で釣りの連載を行うほどです。「私は釣りをスポーツと捉えています。ですから魚と人間がフェアに戦える、テニスカラ釣りが好きなんです」と、釣りにもポリシーを持つ先生です。

まるごと体験ワールド

小・中・高生に「知」の楽しみを!

8月3日、4日の2日間、学内の各教室を会場に「まるごと体験ワールド」が開催されました。これは小・中・高校生の方々に「工学」「情報科学」に興味を持っていただくために、暮らしに身近なテーマで「ものづくり」を楽しくわかりやすく体験していただくイベントです。

今年は823名の方々から参加の申し込みがあり、抽選の結果359名の子供たちと329名の保護者の方々が参加されました。参加した方々からは「楽しかった」「おもしろかった」など、たいへん好評です。

来年も夏休み期間を利用して開催が予定されています。事前申し込みが必要となりますが、イベント参加は無料で昼食も用意されていますので、同窓生の方々も、夏休みの一日をお子さんと一緒に母校のイベントに参加してみたいかがでしょうか。



真剣な顔つきで画面を見つめる参加者

コンピュータに教えよう



多数の申し込みがあり、受付には列ができるほど



ソフトの操作手順を説明する水野助教



プログラミングの基礎から丁寧に指導



パソコンを使って指示した通りに動くロボット

難しい部分は保護者や学内スタッフに質問して解決

花力発電



完成したパネルに光を当てて電力を計測



説明に従って親子で作業



参加者の質問や歓声で賑わった教室

ゲルマニウムラジオを作ろう



模型を使って部品の形を確認 ハンダ付けなど親子で協力



電池を使わず放送が聴ける完成品



間違えないように真剣な面持ちで作業

Program

パソコン分解講座 古くなったパソコンやビデオなどを分解してその構造を調べます。

花力発電 花や果物の色素を用いて太陽光から電気を取り出す、太陽電池のパネルを製作。

スターリングエンジンを作ろう 環境に優しい「未来のエンジン」といわれる、スターリングエンジンの原理を学び、組み立てます。

コンピュータに教えよう コンピュータに絵を描かせるため、その手順をひらがなでコンピュータに教え込ませるプログラミングの入門編。

ゲルマニウムラジオを作ろう ゲルマニウムダイオードを用いて電池のいらないラジオを作り、実際に聴いてみます。

CGアニメーション コンピュータを操作し自分の手でCGアニメーションを作ります。

君もイチローになろう スポーツと眼の関わりを動体視力、瞬間視力測定などから学びます。

川の石と生き物の観察会 実際に川へ行って、東海豪雨後の河床の礫の移動を観察したり、そこに生息する水生昆虫などの生き物を観察します。

機器を用いる化学実験 走査線型電子顕微鏡による固体の観察や溶液の電気伝導度の測定、液体の赤外線吸収スペクトルの測定をします。

OPEN CAMPUS

愛工大を一日体験!オープンキャンパス

愛工大を見て、歩いて、聞いて、何が学べるか一緒に体験できるイベントです。大学組織全体で取り組んでおり、受験を控えた生徒さんや、受験生を持つ保護者の方に、愛工大をわかりやすく見学してもらえよう工夫を凝らしています。

愛工大の全体説明から始まり、学科紹介のデモンストレーション、入試の詳細な説明、個別相談などをはじめとしたイベントがたくさん用意されており、一日で大学が一望できるようになっています。

毎年、夏・秋と開催していますが、今年の夏には1221名の方の参加がありました。参加した生徒さんからは「受験前に大学を見ることができて大変ためになった」という声が聞かれました。

愛工大の設備・環境は日々進歩しています。同窓生のお子さん、お知り合いで、愛工大の受験を希望している方がいらっしゃいましたら、ぜひこのイベントに参加してもらえようお勧めください。



パソコンを使っでの授業を体験



現役の大学生から説明を受ける参加者



広々とした屋外広場でのランチ



朝から受付には長い列が

学科デモンストレーション

オープンキャンパスでは、各学科研究室における代表的研究やおもしろい研究を高校生に展示・実演する「学科デモンストレーション」を実施しています。高校生にとって学科選択の指針となる上、各研究室の大学生・教授と接することができ、大学をより身近に感じることができます。

電気工学科

- ・環境に優しい電力システム
- ・雷さんと仲良くすれば怖くない
- ・光コンピュータを目指して

電子工学科

- ・夢いっぱいレーザの世界へ
- ・半導体シリコンに触れて、ダイオード作り
- ・画像データをいじってみよう
- ・LSIを設計してみよう。LSI設計ソフトの世界
- ・電子顕微鏡で覗いたミクロの世界
- ・生体工学研究室。発見ツアー
- ・生活を支えるセンサ
- ・電子ビーム応用研究室。数値解析用ツールに触れてみよう
- ・PCによるDVDシアター・半導体産業の紹介
- ・音の発生源を映像化してみる
- ・ビジュアルプログラミングを体験してみよう

応用化学科

- ・不思議なゴムの性質
- ・超音波で物質(もの)を溶かしてみよう
- ・物質(もの)と光の関わり

機械工学科

- ・形状記憶合金で動きを作る
- ・メカニズムのあれこれ(学生製作機械の展示)
- ・動くロボット、遊ぶロボット

土木工学科

- ・東海地震対策!! ・環境に優しい透水性舗装
- ・ひとに優しい都市計画
- ・セメント・コンクリートを使ってアート作品を作ろう
- ・1.河川・環境に関する研究の紹介 2.ドジョウつかみ競争
- ・液状化しそうな地盤とは!作って調べてみよう
- ・東海地震を体験してみよう

建築学科

- ・建築設計は楽しい ~ 学生の設計作品展 ~
- ・音を測ろう ・鉄の棒を引っぱろう

建築工学科

- ・CADを使って設備設計を体験しよう
- ・車イス・バリアフリー体験
- ・あなたの家は大丈夫?地震に強い家作り

情報通信工学科

- ・レゴで遊ぼう ・ネットワークの世界
- ・びっくりビデオ

経営情報学科

- ・Visual Basic プログラミング入門
- ・ドリトル言語でロボット制御 ・インターネットラリー

マーケティング情報学科

- ・株価予想コンテスト ・ホームページ作成教室
- ・大学生生活と自己紹介

【平成15年度入試日程】

入試制度	出願期間	試験日	試験会場	合格発表	試験科目
前期日程一般入試	1/7 ~ 1/21	1/30・31 2/1	1	2/7	【工】数、英、理(物・化より1科目) 【経】英、数、国(数・国より1科目)
前期日程奨学生入試		1/31			
中期日程一般入試	2/3 ~ 2/12	2/19	2	2/23	【工・建築】英 【工・応用】理(化) 【工・上記以外】数 【経】数・英より1科目
後期日程一般入試	3/1 ~ 3/7	3/15	本学	3/19	【工】数、(物・化・英より1科目) 【経】英、数、国より1科目
センター利用入試	1/21 ~ 1/30			2/7	【工】数、理、(国・地・公・外より1科目) 【経】外、(国・数より1科目)、 (理・地・公より1科目)
一般推薦	11/1 ~ 11/7	11/17	本学	11/28	書類審査・小論文・面接
女子学生推薦		11/16			書類審査・小論文・面接・競技実績評価
スポーツ推薦					小論文・面接
社会人推薦一次 (イブニング履修)					
社会人推薦二次 (イブニング履修)	3/1 ~ 3/7	3/15	本学	3/20	小論文・面接

1 (1/30) 本学・名古屋・岐阜・津・金沢・東京・静岡・浜松・大阪・岡山・広島・松本・北九州 (1/31) 本学・名古屋・岐阜・津・浜松・金沢・松本 (2/1) 本学
2 本学・岐阜・津・浜松・大阪・富山

個人面談で学生をバックアップ

長引く不況で厳しい就職状況が続いています。そんな中、平成13年度は3689社からの求人があり、2月19日・20日に開催された企業懇談会には約200社が参加するなど、愛工大は多数の企業から注目を浴びています。

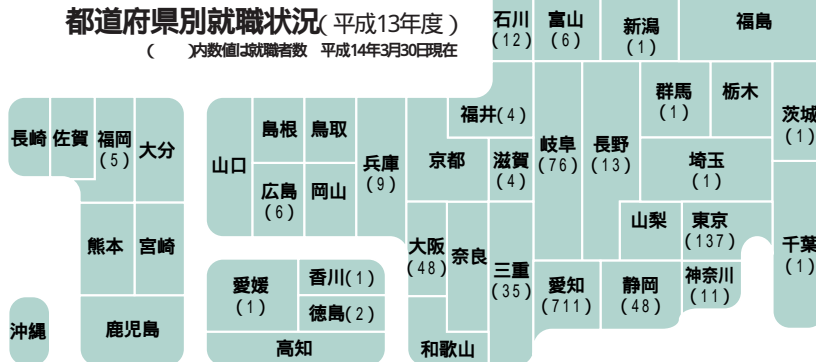
就職部では、学生一人ひとりが就職への動機づけを固められるよう、個人面談を重視した指導を行っています。社会の中で自分がどのような役割を果たしていきたいのか具体的なビジョンを持つことは、就職活動に臨む上でも、社会生活を送る上でも有意義であるからです。また、「就職指導マニュアル」の作成も予定しています。これにより、学科ごとの内定率の偏りをなくし、全体的な就職率アップが期待できます。

最先端で能力を活かす人材づくり

中部地方では初めての試みとして、昨年より機械工学科では3DCAE(形状の最適化)をカリキュラムに取り入れています。これは設計の段階で強度計算や振動解析、流動解析、熱解析などを行うもので、大手企業を中心に今、まさに実践されている技術です。つまり、CAEが扱えることは即戦力として先端で活躍できるということ。このように、企業が求めているニーズに応えるため、各学科ともに履修科目の検討も行われています。

企業でリーダーシップをとり、中心的存在となっている卒業生が多いことも愛工大の特徴です。今後は中小企業を対象とした講座を開くなど、卒業生との関係を密にしつつ、産学の連携も深めていきたいと考えています。

都道府県別就職状況(平成13年度)
()内数値は就職者数 平成14年3月30日現在



就職部長
岩永 弘之
機械工学科教授

履修科目の充実と
細やかな就職指導で、
今年も就職に強い愛工大

就職活動を様々な角度からバックアップ

愛知工業大学では、就職活動を支援するために下記のようなプログラムを組んでいます。

平成14年度 就職支援スケジュール

7月	1月
第1回就職ガイダンス 就職模擬試験 START 第2回就職ガイダンス(講演) 就職情報・リクナビ等 就職適性検査 CAREER FOCUS	自己表現テスト 就職作文試験
10月	2月
就職適性検査フィードバック講演 SPI能力模擬対策講座 第3回就職ガイダンス(講演) 就職活動全般	面接模擬対策講座(面接者1名対学生1名で実施) 学内企業研究会(愛名会)
11月	3月
エントリーシート攻略テスト 面接対策講座 第4回就職ガイダンス4年自由応募内定者(パネル)	地元企業交流会(四日市) 地元企業交流会(富山) 地元企業交流会(浜松) 地元企業交流会(岐阜) 学内企業研究会(一般企業)
12月	
第5回就職ガイダンスOB/OG(パネル) エントリー試験	

学内企業研究会

企業と学生がコミュニケーション

来春卒業を予定している愛工大生を対象に、平成14年2月21日(木)、22日(金)の2日間にわたって学内企業研究会が開催されました。これは鉾徳館内に置かれた約150社のブースで人事担当者と学生が自由に面談できるというもの。当日は関心を持った企業ブースで熱心に説明を聞く学生達で賑わっていました。



鉾徳館に設置された会場



社名パネルを目印にブースを訪問



順番待ちの行列ができる企業も



メモを取りながら生きた情報を収集



興味のある業種や企業を選んで面談



資料を手に積極的に質問する参加者

第1回 愛知工業大学AIT名電サテライトセミナー

「宮崎駿と司馬遼太郎～創造と人間性～」

初めての試みとして、名古屋市千種区若水の愛知工業大学名電高等学校新校舎のサテライト教室を利用し、「AIT名電サテライトセミナー」を3日シリーズで開講しました。第1回は「宮崎駿と司馬遼太郎」をテーマに、基礎教育センターの森豪教授が2人の創造と人間性を焦点に当てた講義を展開しました。

【開催日程】

5/25、6/1・8

第1回「二人の創造の原点」

第2回「司馬遼太郎の人間像」

第3回「ナウシカ・もののけ姫・千尋」

会場となった名電
高等学校新校舎



ユニークなテーマに参加者も興味津々



司馬遼太郎のひとりなりを解説



スクリーンを使って講義



講義修了者には修了証書を授与

第13回 愛知工業大学AITオープンセミナー

「東海大地震に備える」

今年も栄中日文化センターのセミナールームで愛知工業大学AITオープンセミナーが開催されました。第13回を迎える今回のテーマは「東海大地震に備える」。講師の土木工学科・正木和明教授が、図表や写真といった資料や、ときには模型を使用しながら東海地震発生の原因とそれによる被害、被害を防ぐための対策法などをやさしく解説しました。身近でニュース性の高いテーマということもあり、参加者人数は延べ250名。毎回熱心にメモを取り質問が飛び出すなど、皆さんの関心の高さを印象づけました。また、講義の終了後は県の防災通信システムの見学も行いました。

参加者の浅岡繁子さんと長田明子さんからは「新聞の折込みチラシで講座の告知を見て応募しました。専門的な内容がわかりやすく、講義自体も楽しく聞けました。対策法についてはさっそく家庭で取り入れたいと思います」との感想をいただきました。

【開催日程】

6/15・29、7/6・13

第1回「東海地震の最新情報」

第2回「被害発生シナリオ」

第3回「地震対策最前線」

第4回「我が家の地震対策」



ユーモアあふれる正木教授の
講義展開



最終日には後藤学長も来場



図表や事例を使ったわかりやすい説明



浅岡繁子さんと長田明子さん

第14回 愛知工業大学AITオープンセミナー

「地震に強い建物を考える」

【開催日程】

11/30、12/7・14

第1回「大地震のとき

木造住宅で起こること」

第2回「建物は大地震に対して

どれくらい安全か」

第3回「建物の地震被害を

避ける最近の知恵

～耐震・制震・免震～」

第14回は「地震に強い建物を考える」をテーマに3回シリーズで開講。第13回で好評だった「大地震への備え」について、今回は建物の視点からレクチャーしました。講義は建築工学科の岡田久志教授と中村満喜男助教授によって進められ、私たちが普段生活している建物は大地震のときどのように振る舞うのかといったメカニズムや、安全な建物と危険な建物の判断基準などを解説。町の建物を見回して避難するときの参考にできた、と好評を博しました。

日進月歩の情報通信業界を トップに立って指揮



昭和44年 電子工学科卒業

日本電話施設株式会社
代表取締役社長

水野 忠氏

技術の躍進を支えた旧電電公社時代

通話だけでなく、インターネットや電子メールなどを利用する上で広く使われている電話回線。水野さんは交換機の開発者として、技術的スペックの検討やネットワークの構築に携わるなど、現在私たちが利用している様々なサービスの発展と拡大を支えてきました。

子供の頃からラジオやアマチュア無線が好きだったという水野さん。卒業後、旧電電公社に入社し、東京で2カ月の研修を終えた後、岩手県の大船渡市へと配属になりました。「冬は寒かった。先輩について仕事を覚えていくので精一杯でしたよ」と当時を振り返ります。昭和40年代は新型のクロスバ交換機の登場によりプッシュホンが普及しはじめた頃。地域によってはまだ手動の磁石式交換機が使われていた時代です。「入社した当時、電話の加入を申し込んで架設されるまでに2年もかかったんです。ですからできる限り早く電話が設置されるように、どこへどういう交換機を置くかが課題でした。」「未整備な状況からいかに効率的に基盤づくりを進めるか」

に碎身したそうです。

その後、東京、川崎市、広島など全国各地を転勤。ソフト、ハードの両面から通信事業の拡充に努めてきました。例えば、災害時などに予想を上回る通話量が発生した際、交換機に渋滞が起こらないための輻輳(ふくそう)制御機能の開発に関わるほか、昭和54、5年には「FAX通信網サービス」をチームで企画し、一般家庭に向けて普及をはかりました。この功績により、社内で表彰されたそうです。

技術者として常に新しいテクノロジーやサービスを見つめてきた水野さん。ISDNの導入は実験のときから携わり、自分でその性能を確かめるなど、利用者の視点で考えて仕事へと反映させてきました。

新たな時代のサービスへ

平成11年にはNTTが再編成されました。水野さんは30年ぶりに名古屋へ戻り、NTT西日本の取締役として名古屋支店長へ就任し、平成13年には現在の職場、日本電話施設株式会社(NDS)へ。翌年には代表取締役社長へと就任。今後はトップとして新たな展開に意欲を燃やします。技術の革新によりますます発展する情報通信。インターネットやブロードバンド、モバイルなどの分野を中心に、これまでの特色を活かした設計・施工だけでなく、メンテナンスやお客様の課題解決ができるような提案型の事業を進めていきたいと考えているそうです。未知の分野へ果敢に挑んでいく技術者時代の姿勢は、企業のトップである現在にも活かされています。



日々の仕事にパソコンを活用される水野さん



大学時代の同窓生の方々による社長就任祝いの席で

工事が進む 地下鉄4号線建設を指揮

数々の地下鉄工事に従事

身近な交通機関として親しまれている名古屋市の地下鉄。平成15年度には「砂田橋」～「名古屋大学(仮称)」間が、また、翌平成16年度には「名古屋大学(仮称)」～「新瑞橋」間が開通の予定で、4号線の環状線化が実現します。加藤さんの仕事はその工事監督。全体を管理する責任者として日々采配を振っています。

昭和46年に愛工大を卒業後、加藤さんは現在の職場へ就職。初めて携った地下鉄は「金山」～「新瑞橋」間でした。地下鉄工事は様々な要素が複雑に絡み合う仕事です。「工事中は道路交通に影響が出ますし、地下埋設物も多数あります。そこで関係機関との調整がスムーズに仕事を進める上で、とても重要です」

この他、鶴舞線の「平針」駅、桜通線の「中村区役所」駅や「御器所」駅などの工事を次々と手がけてきました。「大変な仕事ですが、結果が線となって実際に地図に載るとうれいいですし、やりがいを感じます」と、加藤さん。

工期と安全性が最優先

現在は第三工事事務所の所長として工事管理を行っています。加藤さんの担当区域は「千種台(仮称)」駅から「八事」駅手前まで。現場から上がってくる工程管理表を見て、全体のスケジュールの中でその工程が適正であるか、無理がないかなどをチェックします。「特に安全面には非常に気を配っています。もちろん工事現場で事故が起こらないよう、入念に足場や設備を点検します。工事従事者だけでなく、交通事故や第三者災害にもつながる危険があるので、現場周辺の安全確認も非常に大事です」。加藤さん自身も週に数回現場を見回り、厳しい目で安全性を確かめています。

技術者の一員として新たな発想に注目

経費や工期、地球環境への配慮など、技術者が直面する課題は多様化しています。「それだけにア



昭和46年 土木工学科卒業

名古屋市交通局
第三工事事務所 所長

加藤 信夫氏

アイデアの出る可能性も増えたと言えるでしょう。地下鉄工事でも従来は掘った土を廃棄していましたが、最近はコンクリートを混ぜて埋め戻しに使うなど、再利用を行っています。これからも快適で便利な公共交通機関を実現するために、より有効な方法を考えていきたいと思っています」と加藤さんは情熱を燃やします。



工事の計画図を見ながら状況をチェック



地下鉄工事の計画について説明される加藤さん



Senior's Activity 2002

猿投グリーンロードの 四車線化工事を担当



昭和52年 土木工学科卒業

愛知県道路公社
建設課 建設第一担当 主査

加藤 也寸史氏

道路の計画から工事の指揮まで

八草草キャンパスからほど近い猿投グリーンロードで、現在、大規模な工事が行われています。これは平成16年の供用を目指した四車線化の工事です。完成すれば八草ICから中山ICまでの約8.6キロが中央分離帯の付いた、より快適な道路へと生まれ変わります。

この現場を指揮するのが加藤さんの仕事です。昭和52年に愛知県道路公社へ入社後、新設計画や工事監督、維持管理など、道路の運営全般に関わってきました。入社後、最初に手がけたのは交通量の詳細な調査やデータの採取・分析です。学生時代から測量などの数字やデータを扱う作業が好きで、細かい計算等を要求されるこの仕事も「数学が好きで楽しくできました」と、笑顔で語る加藤さん。

新規の建設では尾張パークウェイの第二期工事の計画や南知多道路の工事監督を務めました。「着工から完成までの期間が短いので、工事中はほとんど休みを取れなかったんですよ」と、当時を振り返ります。現在のポジションは3年目。猿投グリーンロー

ド四車線化事業の計画当初から携わり、新規ルートはどこに通すのかという立案をしたこともあって、思い入れが深い道路の一つです。

アイデアが活かされる仕事の魅力

現場では指示を行う立場上、設計者や工事担当者と綿密な打ち合わせを重ね、適切な指示を出していかなければなりません。「若いときは大変でした。なにしろ親と同年代の経験を積んだ工事現場の責任者と仕事を進めることも多かったので、知ったかぶりをせずに知らないことは知らない」と正直に質問して、少しでも自分の知識を蓄えながらいい関係を築いていきました。

この仕事に就いて「モノができていくうれしさ」を実感したという加藤さん。平成13年に開通した猿投トンネルの工事では、東西の両方向から掘り進め、中間地点でつながった瞬間には感動を覚えたそうです。

また、単に道路を造って管理するだけでなく、経済や社会情勢など「一見業務とは離れているようなことでも知っている」と役立つことが多いんですよ」と仕事の魅力を語ります。ときには周辺地域の環境アセスメントを調査したり、利用者へ配るプレゼントをはじめとしたサービス内容を考え現場でピーアールしたり、利用者の理解を得られ、なおかつ採算性のある道路を維持していくために様々な努力をしています。

知識の獲得に常に前向きで意欲的な加藤さんは、今後も柔軟な姿勢から生まれたアイデアを武器に仕事へ取り組んでいくそうです。



現場で工事責任者と打ち合わせをする加藤さん

猿投グリーンロード四車線化工事の現場で

90年目の節目に各種の記念行事を開催

2002年は名古屋電気学園が創立して90周年の年にあたります。そこで学内外では数々の記念行事を展開しました。大学同窓会も寄付金などの形で参加し、大いに盛り上がりました。

学園創立90周年記念式典

各界から寄せられた祝辞と期待



盛大に行われた式典の様子

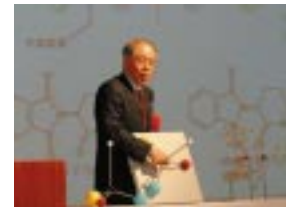


多数の関係者が参列



90年の歴史を振り返り、学園のさらなる発展に期待を込めた後藤淳理理事長の祝辞

大学名誉博士学位の授与



野依先生の研究内容だけでなく、生き方や人間の魅力にも触れることができた講演



平成14年11月14日(木)、名古屋西区のウェスティンナゴヤキャスル「天守の間」で記念式典と祝賀懇談会を開催。式典では後藤淳理理事長の祝辞の後、文部科学大臣、中華人民共和国大使館特命全權大使、愛知県知事、日本私立大学協会会長から祝辞が寄せられました。続いて中部電力会長の太田宏次氏に大学名誉博士学位が授与され、大学同窓会をはじめ、高校同窓会、大学後援会、愛名会からそれぞれの寄付金目録の贈呈がされました。

その後、「研究は瑞々しく、単純明快に」というテーマで、2001年にノーベル化学賞を受賞した野依良治先生の記念講演が行われました。愛知工業大学の協力で研究を進めた頃のお話や、ご自身が研究者を志したきっかけ、受賞対象となった「不斉水素化反応」についての概要、さらに「化学は美しく、面白く、そして人類社会に貢献する」という研究に対する心構えなどがわかりやすく紹介されました。

当日は740人が参加し、学園にゆかりのある老若男女で会場は賑わいました。

AITサイエンス大賞 科学の楽しさ・深さを学ぶきっかけとして



賞状と記念品を受け取る加茂高校の生徒



ロボットによるデモンストレーション

90周年記念行事の一環として今年から新たに愛工大主催「AITサイエンス大賞」が設けられました。これは青少年に科学への興味を喚起するため、東海4県下の高校の理科クラブ、科学クラブ、課題研究などから成果を作品として募集するものです。今年は17校18チームがエントリーしました。平成14年11月16日(土)には10号館の2210教室で研究発表会が行われ、最優秀賞は、自然科学部門では「放射線による種子への生育変化と突然変異に関する研究」を行った日進西高校のほか、豊橋東高校、加茂高校が受賞。ものづくり部門では四日市中央工業高校、刈谷工業高校が受賞しました。そのほか、優秀賞、奨励賞が授与されました。最優秀賞受賞には至らなかったものの、どのチームの研究も独創的で新鮮な視点に立ったものばかりで、学内外の専門家による審査員たちからも思わず感嘆のうなり声が続きました。なお、受賞者には賞状と副賞が手渡されました。

学園創立90周年を記念して、まつりに参加

名古屋電気学園創立90周年と愛知工業大学情報電子専門学校開校10周年を記念して、有志が「みずわか連」を組織して平成14年7月27日、豊田おいでんまつりの「おいでん総踊り」に初出場。そらいのTシャツを着てダイナミックな踊りを披露しました。



楽しみながら、踊りに参加

苦労をバネに
新社会人として奮闘中



仲間たちとの思い出の一枚(右端が本人)

三菱電機システムサービス 勤務

藤崎 陽平

私は会社に入社した4月から約4カ月間の研修を終え、現在はシステム開発の仕事をしています。

研修では、社会人としての最低限のマナー、技術者としての基礎知識やシステム開発について学びました。その中で、実際に車体塗装ラインのシステム仕様書からプログラムを作成し、現地調整するまでの流れを習得する研修がありました。システム仕様書やプログラムの作成は思っていた以上に大変で、現地調整で思い通りに動かなくなったときは、これからの仕事の不安を感じました。しかし、苦労の末に思い通りに動いたときの喜びは格別です。これから仕事をしていく上で、色々な壁にぶつかるとは思いますが、このときの気持ちを思い出し、がんばっていききたいと思います。

隠れた存在として
空の安全を守る航空管制官



1日に最大350機もの航空機を扱う管制室

国土交通省大阪航空局
名古屋空港事務所 勤務

鈴木 正志

“ Good Morning NAGOYA・・・ ”パイロットからの呼び込みで空港の慌ただしい一日が始まります。現在名古屋空港には国内便で1日30カ所90便・海外便で1週間に30都市207便が就航しています。その内容も大型ジェット旅客機から小型のヘリまで千差万別です。現在、我々の職場は多くの方に知られるようになってきましたが、私が入省した昭和57年には今ほど注目されることもなく、ほとんどの方が公務員(当時運輸省職員)であることすら知らなかった状況でした。私たち現場の管制官は、パイロットと無線交信にて指示や許可を出し目的空港に安全に誘導することが仕事です。顔も名前も知らない同士の無線のみでの付き合いの中、声の調子から顔を想像し今日の機嫌まで考えながら業務を行っています。

いつの日かどこかの空港で飛行機に乗られるとき、私たち管制官が秘かに働いていることを思い出していただけたら幸いです。

頑張った結果を残す
技術者の誇り



横浜国際平和会議場・国際展示場

(株)熊谷組 勤務

本澤 昌巳



建物をつくることに憧れて建築の道を目指し、現場監督という職に就き、日々「ものづくり」というもののやりがいを感じています。ここでは僕が初めて手がけた作品を紹介したいと思います。この横浜国際展示場は、みなとみらいのパンフィコ横浜と呼ばれる施設の一つで、竣工後は様々な展示会はもとより横浜トリエンナーレ、FIFAワールドカップの国際メディアセンター会場など、国際的なイベントにも使われています。ものができあがり、それを人々が利用して、地図に残り、歴史に刻まれていく。素晴らしいことだと思います。

ませんか?自分が働いた分、がんばった分が、そのまま形となって現れてくる。それがすごくうれしい。毎日が忙しくとも報われる、そんな気持ちにさせてくれます。

まだまだ駆け出しですが、これから三現主義(現場で現物を現実的に)をモットーに、誇りを持った技術屋として「ものづくり」に励んでいくつもりです。



初めてのダイビング
世界観が変わった



大潮崎でのダイビング(左端が本人)

中村建設株式会社 勤務

湯浅 昭二

就職して4年、仕事にも慣れ、自分の時間が少しずつとれるようになってきました。そこで何か新しいことに挑戦しようと思い、学生時代からやりたかったダイビングを始めることに。

初めて海に潜り色々な魚を見て、自分の中の世界観が変わったような気がしました。ダイビングは一人で始めましたが、ツアーに参加すると自分より年がはるかに上の人と潜ることがあったり、様々な職種の人と話をする機会もあります。毎回、何かの発見があって、とても楽しい時間を過ごしています。

多くて、月に一度か二度、ほとんど日帰りで潜りに行くことしかできない状況ですが、とてもフレッシュできていい刺激になっています。

「いろんな場所で潜りたい」「たくさんの人と会いたい」と思うようになりました。私生活、仕事共に、もっともっと挑戦していきたいと思っています。

マイペースに日々自己研鑽
今のペースでがんばります



休日を仲間と一緒に(中央が本人)

エンシュウ(株) 勤務

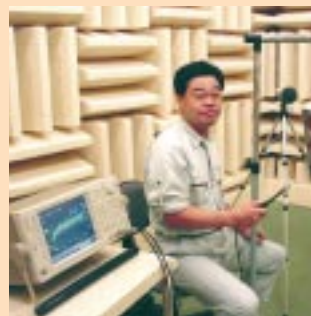
鈴木 幹夫

今年の4月から浜松市にありますエンシュウ株式会社に入社しました。当社では、マシニングセンタ、トランスファーマシン、フレキシブルトランスファー・ライン / マシン(FTL / FMS)を製造している工作機械メーカーです。

私は浜北工場、制御課に配属されました。具体的な仕事内容はラダー図設計ということになりますが、当然入社していきなり設計ができるわけがありません。今は部署にいる先輩方の補助をしています。愛工大の電気工学科を卒業した1年上の先輩がいるので、とても心強く思います。先輩が「1年経ってもわからないことだらけだよ」と言っていたので、私も気長にがんばっていきましょうと思います。

同期と仲が良く、頻繁に遊んでいます。夏休み初日にも諏訪湖にパラグライダーをやりに行ってきました。夏休み明けからも仕事に遊びにとこのままのいいペースでいきたいです。

出会いを大切にして
新たな企画・開発へ



防音材の開発を行う職場にて

イダ産業(株)技術部 勤務

大橋 昌彦

卒業してからはや20年、イダ産業(株)へ入社して以来、自動車用シ-リング材の製品開発一筋で充実した毎日を送ってきました。最近では、700系新幹線への防音材開発が大きなプロジェクトでした。これは、車両が300km/hで走るため外壁のパネルが振動し、このため車室内に音が放射され騒音となるのです。そこで振動を制御することによって騒音を低減し、さらに軽量であることも要求されました。常識的には相反することで、重量が上がれば騒音は低減できます。この常識を覆すために新しい考え方を導入した“難燃発泡制振材”を開発し採用していただいております。これは開発者冥利につき、この仕事をして良かったと思う瞬間です。これもおたたくさんの人との出会いがあり、その都度、私を成長に導いていただいた諸先輩や後輩に恵まれたことが大きかったと思います。これからも、人との出会いとふれあいを大切にして新しい企画と開発に取り組みたいと思っています。

バレーボール部

部員19名

主将 平野 圭介

大学の鉦徳館で、月・火・木曜日の週3回練習を行っています。最近では2001年の秋季東海学生リーグ3部で2位、2002年の春季東海学生リーグ3部で3位の成績をおさめました。対外的には主に愛知産業大学/南山大学と練習試合を行っています。毎年1回(7月の第1土曜)にOB会を開催していますので、参加をお待ちしています。



サーキットでのカート走行

レーシングカート部

部員20名

部長 水野 孝祐

休日を利用して瑞浪レイクウェイや津保川カートランド、桑名レインボーカートランドで練習しています。2001年の「第6回全国学生対抗カートフェスティバル」ではPRDクラスで1位、2位を独占したほかSストックDクラスやSSOクラスでも良い結果を残すことができました。昨年は全国大会での優勝を逃してしまったので、今年こそはぜひ勝ちたいと思います。



サッカー場で練習に励むメンバー

サッカー部

部員30名

主将 堤 淳

16:30から大学のサッカー場で練習を行っています。2001年は東海大学サッカーリーグ戦で7位の成績をおさめるほか、愛知学生選手権大会でも善戦しました。今年こそは二部に昇格したいと思えます!先輩方のご声援をお待ちしています。

陸上競技部

部員22名

主将 滝川 真

学校のグラウンドやトヨタ自動車のスポーツセンターでのポイント練習、学校周辺の起伏とんだコースでロードワークを行っています。2002年の東海インカレでは10000M、3000M障害、10000M競歩で各優勝、5000Mでは2位を獲得しました。また、兵庫リレーカーニバル3位、日本選手権4位、国際大阪グランプリ4位、日本学生種目別選手権3位(すべて3000M障害)などの成績を果しています。今後は出雲大学駅伝、全日本大学駅伝等、全国レベルの大会があるのでそれに向けてがんばりたいと思います。ホームページ(<http://www.aitech.ac.jp/ekiden/>)を開設していますので、アクセスして掲示板に書き込みしてください。

総合工学研究会

部員10名

部長 牧野 悦康

毎週土曜日の午後から第三クラブハウスや機械科工場棟で活動しています。毎年「HONDAエコノパワー燃費競技中部大会」へ参加しており、昨年は全国大会で完走、今年の中部・近畿大会では8位の好成績を得ました。今期より導入したEFI(電子制御燃料噴射装置)の効率性を活かせるようデータ収集をし、少しでも確実に記録を伸ばしていきたいと思っています。エコカーを調整中の部員たち



ソフトテニス部

部員13名

主将 今枝 雄二

週4回、月、火、木、金に学校のテニスコートで活動しています。2002年4月の東海学生リーグ2部では第4位を果しました。今後は東海学生リーグ1部昇格を目指してがんばっています。OBの皆さん、時間があるときは練習をぜひ見に来てください。

ヨット部

部員8名

主将 大地 智也

毎週日曜日や休日に蒲都市の海陽ヨットハーバーで活動を行っています。最近では「中部学生ヨット選手権大会種目470級団体」で3位をキープ。これまで以上に内容の濃い練習に取り組んでいこうと思います。

フィッシングクラブ

部員14名

部長 谷田 新也

木曜の昼休みにクラブハウスでミーティングを行い活動先を決定しています。三重県・尾鷲などへの合宿も行っています。みんなで仲良く、上下関係を大切にしながら協力してクラブを盛り上げていこうと考えています。

自転車同好会

部員25名

部長 佐伯 和彦

中部サイクリング連盟主催のツーリングがメイン活動です。ほかにショップ主催のレース等へ向けて個人的に練習しています。今年の中部サイクリング連盟ヒルクライムでは優勝・準優勝を勝ち取りました。安全に楽しくをモットーに、学生でしか味わえない体験に挑戦し、達成感を追い求めていきたいと考えています。先輩方の伝統を守りつつ、これからも楽しく盛り上げていきたいと思っています。

システム工学研究会

部員50名

会長 岩田 真興

部室や教室を使用してプログラミング講座とCG講座を開講するほか、大学祭やイベントなどにも積極的に参加しています。また、ボランティア活動として名古屋の福祉施設にコンピュータを出展するなど、学外での取り組みも行っています。他大学とも大学祭や大会を通して交流を深めていく予定です。

コンピュータに興味を持って来てくれる人が多いので、今後はそれに応えられるように体制を整えていきたいと考えています。サークルの目標「愛工大のシンクタンク」を実現できるよう部員一同頑張ります。

Robot-Artクラブ

部員9名

部長 服部 剛史

授業後に第三クラブハウスへ集合し活動しています。特筆すべき成績は残していませんが、今後は様々な大会に出場し技術を向上させていきたいと考えています。

「開かれた大学」で広がる知識と交流の輪



平成14年9月14日(土) 三重会場(四日市都ホテル)
「パソコンとうまくつきあう～パソコンと目の疲れ～」
 講師 / 石垣尚男(経営情報科学部 マーケティング情報学科 教授)

今やパーソナルコンピュータは仕事に欠かせないものとなっており、同じ姿勢で、発光する画面の小さい文字や数字を見つづける作業で、多くの人が目の疲れ、肩や首のこりといった症状などを訴えています。これら、「目の疲れ」「肩や首の疲れ」「視力の低下」について、石垣先生の専門である、スポーツ視覚学、運動生理学から、その予防策などを交えた講話が行われました。

平成14年9月21日(土) 静岡会場(グランドホテル浜松)

「人にやさしい住まい・街」

講師 / 建部謙治(工学部 建築学科 教授)

高齢者社会を迎えて、家の住み方、暮らし方、また、できるだけ長く自立生活の送れる住まい、自由に移動できる街の仕組みについて、高齢者や障害者などの立場に立ってわかりやすく説明がありました。また、バリアフリーの意味と由来、その目的や基準、バリアフリー住宅が普及している背景、介護保険が受けられるサービス及び住宅改修のポイントなどの紹介がありました。



平成14年9月28日(土) 関西会場(ホテルサンルート梅田)
「ちょっぴり暮らしに役立つ統計のおはなし」

講師 / 中川覃夫(経営情報科学部 マーケティング情報学科 教授)

中川先生の専門である、オペレーションズ・リサーチ、信頼性工学の見地から、統計についての話がありました。「しゃかの説法」「たかが平均、されど平均」「偏差値とは」「統計のウソ」「比率の逆転」「ギャンブル必勝法」「ねずみ講でもうける方法」など、ユニークなテーマが注目を集めました。

平成14年10月5日(土) 北陸会場(ホリディ・イン金沢)

「東海・南海巨大地震について」

講師 / 正木和明(工学部 土木工学科 教授)

内閣府中央防災会議は、平成13年度「東海地震」について22年ぶりに震源モデルの見直しを行い、これに伴い、本学所在地の豊田市も地震対策強化地域に含まれることとなりました。また、東海地震を想定した特別法である「東南海・南海地震対策特別措置法案」が議員立法の形で成立する見通しです。横浜から、名古屋、阪神、瀬戸内にかけての地域で巨大地震が発生することを前提としたこれらの地震対策は、まさに国家的事業といえます。本フォーラムでは、地震に関するここ1年間の国・学会の動きについて紹介されました。



「北陸支部総会」開催

北陸支部22人の卒業生と大学本部から、稲垣慎二副学長をはじめ8人の卒業生が出席して、第6回北陸支部総会が開催されました。議事に先立ち、来賓を代表して、稲垣副学長から大学の現状報告等を含めた挨拶がありました。引き続き、総会次第に沿って議案が提議され、審議の結果、それぞれ承認され、新役員により、北陸支部会が運営されることとなりました。

平成14年9月から10月にかけて、本学と各地の地域支部同窓会が連携して「第33回AITオープンフォーラム」が開催されました。パソコンや住まい、地震など関心の高いテーマが取り上げられ、当日は多数の卒業生や一般市民が参加。会場ではアカデミックな内容をわかりやすく、ときには笑いも交えながら講話が繰り広げられました。



平成14年10月12日(土) 中国・四国会場(岡山ロイヤルホテル)

「司馬遼太郎と宮崎 駿 - 創造と人間性 - 」

講師 / 森 豪(基礎教育センター 総合教育教室 教授)

宮崎 駿「千と千尋の神隠し」におけるストーリーに併せて、そのファンタジー(空想)性、主人公の成長、子供の心の重要性や子供は大人の父親である、という観点での解説がされました。また、「司馬遼太郎の創造の原点」「宮崎駿の創造の原点」と題した話があり、参加者はその内容に聞き入っていました。

平成14年10月19日(土) 岐阜会場(岐阜グランドホテル)

「21世紀はインターネットの時代～IT革命に乗り遅れないために～」

講師 / 近藤高司(経営情報科学部 経営情報学科 教授)

今や、ビジネスの世界のみならず、携帯電話のインターネット対応やネットバンキング、オンライン・トレード、ネット・オークション、バーチャル・ユニバーシティなど、社会全体がインターネット化し始めています。インターネットをもとにしたIT革命が現実になりつつあり、これに乗り遅れることなく、企業、消費者の研鑽が始まっています。本フォーラムでは、インターネット開発の歴史、ドットコム企業、インターネット端末としてのパソコン、インターネット・セキュリティ、ネットビジネス企業の現状と将来について、明快な解説が行われました。



「岐阜県支部総会」開催

岐阜県支部34人の卒業生と大学本部から鈴木達夫学長補佐をはじめ7人の卒業生が出席して、第3回岐阜県支部総会が開催されました。議事に先立ち、鈴木学長補佐から大学の現状報告等を含めた挨拶がありました。引き続き、総会次第に沿って議案が提議され、審議の結果、それぞれ承認され、新役員により、岐阜県支部会が運営されることとなりました。

異業種間での情報交換を中心とした新しい形の同窓会を開催しています

瑞若会(愛知工業大学同窓会)会長 大葉 正之

平成14年6月に定期的校友会「若水会」を発足させました。「がんばるOB」でも紹介されている水野さんをはじめ、42年の卒業生がメンバーの中心です。

それぞれの業種は電気や商社、自動車、情報通信など多岐にわたっています。話題も政治や経済、企業の海外進出など多種多様。硬軟併せて自由に意見交換しています。同年代であるため社内での立場も似ており、日々の問題解決のヒントが生まれることもしばしば。有益な情報を得られたり、思わぬ盲点を指摘されることもあり、非常に有意義な時間を過ごしています。

今後は2～3カ月に1回のペースで会を開きながら、できる限り視野を広げて発展的な形の同窓会にしていきたいと考えています。



昭和42年 機械工学科卒
 日東工業株式会社常務取締役

電子工学科一期生・電気工学科二期生の同窓会を開催

38B 吉村雅彦 38R 高田良弘

一昨年より久しぶりに開催し、今年で2回目の同窓会を去る4月21日(日)中国大飯店で行いました。参加者は写真の24名。楽しい一時を過ごしました。年は取っても同窓生同士で学生時代と変わりなく会話を楽しむことができるのは素晴らしいと思います。「久しぶりに会った友人」という感じで時間が経つのも早く、もっと時間を長く取っておけば良かったと反省しております。

次の日にゴルフを計画しましたところ、8名の参加者がありました。関東、関西からの参加者もあり、交通の便の良い所としてシンコーゴルフクラブにて楽しみました。

今回は来年になると思いますが皆さん楽しみにしております。



近況報告や思い出など、話が尽きない一日

思い出を語った電気工学科・45年卒クラス会

45B 更谷光夫

平成13年11月24日、知多半島の内海館にてクラス会を開催しました。30余年ぶりということもあり、幹事6名が事前に何度か集まって名簿の確認や不明者の調査などを行いました。

皆さん久しぶりに会って初めは誰だかわからない様子でしたが、会が始まり、昔の思い出や現在の環境などを一人ひとり聞いているうちに、昔のイメージや思い出がずいぶんよみがえってきました。

2次会では12畳間に28名全員が集まり、12時過ぎまで思い出話に花が咲き、話の尽きることはありませんでした。

翌日の朝食後解散で、初めてのクラス会は終了。

幹事をさせていただいた私が楽しかったので、きっと皆さんも楽しんでいただけたと思っています。また3~5年後ぐらいを目標に開催したいと考えております。



食事の前に全員で記念写真

建築学科同窓会からのお知らせ

皆の同窓会を目指して多数の仲間の参加を!

昨年春、独特の風貌で学生や卒業生に人気があった岡野教授が、また、温厚な口調で語る西洋史で新しい知見を与えていただいた小野木教授がご退職されました。先生方の益々のご健康とご活躍を!

6月成瀬教授が地域環境保全功労者として環境大臣表彰、おめでとうございます。

今年(平成15年)は総会の年です。多数のご参加を! 恒例の新年互礼会を1月24日18時プリンセスガーデンホテルで開催します!

参加者はFAX番号0565-48-0030 建築学科同窓会まで!

中国分会からのお知らせ

中国分会の新役員が決定しました。

会長 劉京南 / 東南大学 校長補佐・教授
 役員 林保平 / 東南大学 応用化学科副主任
 賈民平 / 東南大学 機械工学科教授
 唐小平 / 東南大学 遠程教育学院主任

平成14年3月31日付で退職を迎えた先生方をご紹介します。

退職教員紹介



電気工学科教授 副学長
荒見 哲雄

平成14年3月31日まで。平成14年4月1日より
電気工学科特任教授・学監

私が愛工大へ奉職したのは昭和53年ですから、24年勤めたこととなります。その間、多くの思い出が残りましたが、私にとっての最高のものは卒研などで学生と共に過ごした時間でしょう。卒業後、子供の写真入り年賀状で幸せな様子を知らせてくれたときなどは、私にもうれしい気持ちが入り込んできます。

24年の間には、学生部長、計算センター長、副学長を務め、大学の発展のために自分なりの努力をしたつもりです。大学を離れても大学と心を繋ぎ続けて、同窓会の皆さんと共に声援を送りたいと思っています。



応用化学科 教授
岡本 弘

平成14年3月に定年退職しました。私は昭和43年に関西にあるタイヤメーカーから応用化学科へ赴任しました。当時は一クラス60名程度の少人数であったため、指導しやすく、また卒業生も活発に働いてくれました。彼等の実験データをまとめた結果が数回の学会賞、協会賞の受賞に結びついたわけですが、最初の南京工学院(現東南大学)訪問団では後藤学長に随行して以来、東南大学をはじめ江蘇省の複数の大学から多数の留学生が来学し、修士号を取得して帰国しました。その中には現在中国の大学で学長や副学長に就任している人も出ております。

これからの大学、特に私立大学はかつてない生存競争に出会う羽目になることは必定。どうかこれからの難局に対し、同窓生の皆さんも良きサポーターとなって応援して下さることを切望いたします。

新任教員(H14年4月1日付)

工学部電気工学科 教授 村瀬 洋
 工学部情報通信工学科 教授 椎野 務
 工学部電気工学科 助手 道木 加絵

退職教員(H14年3月31日付)

副学長兼AITプラザ館長・工学部電気工学科 教授 荒見 哲雄
 工学部応用化学科 教授 岡本 弘
 工学部建築学科 教授 岡野 清
 工学部建築学科 教授 小野木 重勝
 基礎教育センター自然科学教室 教授 永谷 彬
 経営情報科学部経営情報学科 助教授 早川 巖

人事異動(卒業生関係)

新任
 計算センター 事務職員 坂野 慎介(H11K)
 昇任
 工学部電子工学科 教授 飯吉 僚(46R)
 工学部建築学科 教授 杉野 丞(52A)
 経営情報科学部経営情報学科 助教授 水野 勝教(63R)
 工学部電子工学科 講師 平松 誠治(H4R)
 入試部入試広報課 課長 宇田 秀樹(55E)
 教育学部学生課 係長 奥田 好弘(62K)

学位取得

経営情報科学部マーケティング情報学科 助教授 寺本 和幸(41E)

事務局長 山田 英介

瑞若会の一年の締めくくりとして「みずわか」が発行される時期が参りました。本年6月の理事会におきまして、名古屋電気学園創立90周年記念募金への瑞若会からの寄付金については、昨年11月に大葉会長から直接後藤学長にお渡ししたたく形で滞りなく終了したことをご報告し、会員の皆様はこの場をお借りして報告させていただきますとともにご協力に感謝の意を表します。また、11月14日の名古屋電気学園創立90周年記念式典においては、昨年ノーベル化学賞を受賞された野依名古屋大学大学院教授の講演等の行事が盛大に行われました。この件は本誌にて掲載しております。

同窓会におきましては、地域支部の北陸支部および岐阜支部の総会が、大学・後援会との三位一体のAITオープンフォーラムに合わせた形で、多くの出席者を得て開催されました。また、AITオープンフォーラムは例年のことながら地域支部の方々にご協力をいただき、無事六会場を終了することができましたことを感謝しております。

現役員体制で早くも3年近くが過ぎようとしております。来年には3年ごとに開催の瑞若会総会と合わせまして、設立40周年の会を開催したく準備を進めております。懐かしいお顔を拝見できるのを楽しみにしております。今後とも皆様のご協力を得て愛知工業大学の発展支援に努め、また、会員の研鑽を深めるとともに親睦の実を挙げるべく努力して参りますので、ご支援、ご協力の程宜しく願いいたします。

瑞若会事業報告

本部の会議

- ・第4回総務常任委員会開催(H13/12/19)
- ・第5回事務局会議開催(H14/2/21)
- ・第5回総務常任委員会開催(H14/2/28)
- ・第1回事務局会議開催(H14/4/26)
- ・第2回事務局会議開催(H14/5/21)
- ・第1回総務常任委員会開催(H14/5/29)
- ・理事会開催(名古屋ガーデンパレス)(H14/6/15)
- ・第3回事務局会議開催(H14/6/28)
- ・第3回総務常任委員会開催(H14/7/30)

各種会議

- ・私立大学同窓会連合会事務局長会議出席(ホテルキャッスルプラザ)(H13/11/21)
- ・私立大学同窓会連合会三役会(ホテルキャッスルプラザ)(H14/4/30)
- ・私立大学同窓会連合会平成14年度総会(副会長大学)(ホテルキャッスルプラザ)(H14/7/10)
- ・三重AITオープンフォーラム(四日市都ホテル)(H14/9/14)
- ・静岡AITオープンフォーラム(グランドホテル浜松)(H14/9/21)
- ・関西AITオープンフォーラム(ホテルサンルート梅田)(H14/9/28)
- ・北陸AITオープンフォーラム(ホリディ・イン金沢)(H14/10/5)

- ・中国・四国AITオープンフォーラム(岡山口イタルホテル)(H14/10/12)
- ・岐阜AITオープンフォーラム(岐阜グランドホテル)(H14/10/19)

各種行事

- ・学園創立90周年事業への援助(H13/11)
- ・「みずわかvol.34」会員へ郵送(34,189名)(H13/12/12)
- ・平成13年度卒業式(H14/3/23)「瑞若賞」贈呈・卒業名簿配布
- ・平成14年度入学式(H14/4/5)新入生に「START-UP」配布
- ・愛工大祭 開催への援助(H14/10)

支部会議

- ・地域支部参加(中国・四国支部新年懇親会出席)(H14/1/26)
- ・地域支部参加(関東支部賞詞交歓会・技術交流セレクション)(H14/1/12)
- ・応用化学科同窓会開催(名古屋国際ホテル)(H14/2/9)
- ・支部長会開催(名古屋ガーデンパレス)(H14/6/15)
- ・職場支部参加 近藤グループ「愛工会」(H14/6/29)
- ・職場支部参加「三友支部」(H14/7/12)
- ・地域支部参加「中国・四国支部」(H14/7/13)
- ・地域支部参加「北陸支部」(H14/7/19)
- ・北陸支部総会開催(H14/10/5)
- ・岐阜県支部総会開催(H14/10/19)

会員訃報

電気工学科	三輪 和夫(37年卒)	H14.7逝去
電気工学科	有田 秀雄(53年卒)	H14.7逝去
経営工学科	谷 満(49年卒)	H13.12逝去
経営工学科	堀之内 康(H5年卒)	H12.12逝去
土木工学科	竹田 好宏(59年卒)	H12.9逝去
土木工学科	矢野 恒和(46年卒)	H13.5逝去

ご注意ください

最近、「愛知工業大学同窓会事務局」と名乗り、会員の家庭に名簿確認や勤務先等を尋ねる電話がかかるようですが、当事務局とは関係ございません。また、某商社を名乗り、金融商品等の勧誘の電話が職場にかかってきて迷惑している等の苦情も届いています。会員の皆様、どうぞご注意ください。

卒業証明等必要な場合は、愛知工業大学教務課へお問い合わせください。
TEL. 0565-48-8121(代表)

平成13年度決算書 収支計算書 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで ~ 経常経費 ~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
入会金(基本金)	5 000 000	5 332 000	332 000	
終身会費	25 000 000	26 660 000	1 660 000	
年会費	10 000	10 000	0	
受取利息	400 000	163 732	236 268	
雑収入	0	0	0	
名簿売却収入	0	6 000	6 000	
当期収入合計	30 410 000	32 171 732	1 761 732	
前期繰越金	63 692 508	63 692 508	0	
収入合計 +	94 102 508	95 864 240	1 761 732	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費				
学科学部援助費	2 500 000	2 500 773	773	
大学祭援助費	600 000	600 000	0	
会報発行費	7 000 000	6 825 286	174 714	
卒業記念品費	800 000	750 750	49 250	
準会員支援費	1 500 000	1 050 000	450 000	
学園90周年寄付金	20 000 000	20 000 000	0	
名簿管理・IT関連費	2 000 000	3 553 200	1 553 200	
(小計)	34 400 000	35 280 009	880 009	
事務費				
人件費	1 200 000	1 461 075	261 075	
消耗品費	600 000	1 227 137	627 137	
会議費	2 000 000	736 634	1 263 366	
慶弔費	400 000	236 750	163 250	
私大同窓会連合会費	150 000	140 000	10 000	
雑費手数料	100 000	167 824	67 824	
(小計)	4 450 000	3 969 420	480 580	
予備費	400 000	0	400 000	
基本積立金へ	5 000 000	5 332 000	332 000	
当期支出合計	44 250 000	44 581 429	331 429	
当期収支差額 (-)	13 840 000	12 409 697	1 430 303	
名簿発行・40周年準備金へ	5 000 000	5 000 000	0	
次期繰越金 (+)	44 852 508	46 282 811	1 430 303	
支出の部合計 + +	94 102 508	95 864 240	1 761 732	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	5 000 000	5 332 000	332 000	
前期繰越金	144 816 087	144 816 087	0	
収入の部合計	149 816 087	150 148 087	332 000	

平成13年度決算書 収支計算書 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで ~ 基本積立金 ~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	5 000 000	5 332 000	332 000	
前期繰越金	144 816 087	144 816 087	0	
収入の部合計	149 816 087	150 148 087	332 000	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	149 816 087	150 148 087	332 000	
支出の部合計	149 816 087	150 148 087	332 000	

平成13年度決算書 収支計算書 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで ~ 名簿発行・40周年準備金 ~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	5 000 000	5 000 000	0	
前期繰越金	0	0	0	
収入の部合計	5 000 000	5 000 000	0	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	5 000 000	5 000 000	0	
支出の部合計	5 000 000	5 000 000	0	

次期繰越額	
内訳明細	金額
基本積立金	150 148 087
経常経費	46 282 811
名簿発行・40周年準備金	5 000 000
合計	201 430 898